

推進計画評価シート

(1) 基本的施策

基本的施策	文化芸術を支える人材の育成						
	将来の文化芸術の担い手を育成するため、芸術家、文化芸術団体等の発掘、支援を行います。						
目標達成状況	評価指標 (A)	目標値	実績				
			H28	H29	H30	H31	H32
	コーディネート機能の構築	制度構築	堺版アーツカウンシルの仕組み検討	堺版アーツカウンシルの仕組み検討	堺版アーツカウンシルの仕組み検討		

(2) 具体的取組

		担当課	文化課
具体的取組	堺市展開催事業		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く美術作品を公募し、将来の文化芸術を担う人材の育成や美術文化の一層の発展を図り、また、優れた美術作品を展示することにより、市民に芸術鑑賞の機会を提供し、市民の文化活動の促進を図ることを目的に昭和 22 年より実施（平成 30 年で第 72 回） ・ 16 歳以上の方であれば堺市内外問わず応募可能の公募展（<u>日本画</u>、<u>洋画</u>・<u>版画</u>、<u>彫刻</u>・<u>立体造形</u>、<u>工芸</u>、<u>写真</u>、<u>書道</u>・<u>てん刻</u>の 6 部門） ・ 平成 29 年度応募数 565 点（うち入賞・入選 336 点） ・ 応募費用 1,000 円 ・ 平成 30 年度予算 6,516 千円 		
具体的取組の達成度を測る評価指標 ※基本的施策の評価指標を踏まえて設定すること	具体的取組指標 (B)	目標値	実績値
		H30	H29
	応募点数	700 点	565 点

(2) 具体的取組

<p>上記目標値達成に向けた特筆すべき取組</p>	<p>実施予定の取組 (平成30年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知度向上を図るため、関西圏の芸術系大学への営業を行う。 ・ 若手出展者の増加に繋がる取組み、部門のあり方についての点検・情報収集を継続して実施する。 ・ 展覧会自体の魅力向上を図るため、協賛企業の獲得などを視野に入れた更なる取組みや仕掛け等の拡充策について、具体的な手法の検討を進める。
<p>上記目標値達成に向けた特筆すべき取組</p>	<p>取組実績 (平成30年度)</p>	<p>今回は6部門合わせて562点の応募があり、一定の応募数を維持し、来場者も4,000人を超えた。また、若手出品者の増加につながる取組みとして、40代未満の受賞者を対象に翌夏に「NEW FACE ART展」を実施した。</p> <p>さらに、市展と直結した取組みではないが、堺市展の入賞者等が登録できる「堺新進アーティストバンク」の登録者の作品を展示する催し「さかいアートパワー」も開催し、若手アーティストの作品発表の場を創出した。</p>
	<p>今後の取組の方向性 (令和元年度以降)</p>	<p>より多くの市民に鑑賞してもらえるよう認知度の向上に努めるとともに、時代のニーズに対応した公募展として開催するため、これまでに引き続き、広報等の取組みを行っていく。</p>